

**トヨタ財団 2015年度国内助成プログラム**  
記入ガイド

1. 基本情報

■代表者情報

代表者氏名		ふりがな		性別	
所属機関名					
役職・肩書など					
生年月日	年	月	日	年齢	
郵便番号	—	都道府県	プルダウンメニューからお選びください		
市区町村・番地					
建物名／部屋番号					
電話番号		E-mail (携帯電話以外)			
URL/Facebook					

■連絡責任者情報

連絡責任者氏名		ふりがな	
郵便番号	—	都道府県	
市区町村・番地			
建物名／部屋番号			
電話番号		電話番号 (左記以外)	
E-mail (携帯電話以外)			

■応募内容に関する情報

企画題目 48文字	副題も含めて、プロジェクトの目的、対象、地域、手段などが理解できるような題目をご記入ください。		
プロジェクトチーム名 20文字	シンプルで分かりやすい名前を推奨します。		応募後の変更は認められません。
企画概要 190文字	<p>地域資源(企画書6)と地域課題(同7)を踏まえた上で、どのような活動を実施することで助成期間中にどのような直接的な結果(アウトプット)やどのような変化(アウトカム)を地域にもたらしたいのか、また中長期的にどのような地域コミュニティを目指すのか(同1)500字以内でご記載ください。(採択された場合には、財団ウェブサイトでご公開されます。)</p> <p style="text-align: center;">「だ・である」調で記入をお願いいたします。</p>		
企画の特性	プロジェクトメンバーが以前から実施している事業を進化・発展させる内容		
活動分野(2つまで)	地域活性化・まちづくり	教育・人材育成	
応募金額	企画書13の合計(申請)と一致 万円	プロジェクトの活動対象地域	●●県○○市△△
トヨタ財団の助成実績	助成を受けたことはない	活動対象地域の人口	直近の人口 人

## トヨタ財団 2015年度国内助成プログラム 記入ガイド

企画書の記入に当たっては、必ず「募集要項」と「記入ガイド」をご覧ください。

フォント：黒色のみ、10.5ポイントまたは11ポイント

枠の大きさは変更不可です。記入事項は必ず枠内に収めてください。ページも増やさないでください。

### 1. プロジェクトデザイン「中長期目標」から「活動」までのつながりを意識しながらご記入ください

中長期目標(プロジェクトの先に目指す5年,10年後の地域コミュニティの姿)	住民ワークショップを通じて策定した地域ビジョンの一部をプロジェクトの中長期目標とする。 ① みんなが集い楽しむ地域：〇〇地域に魅力を感じる人のつながりを広げ、雇用と移住につなげ、人口の社会増を目指す。 ② 持続可能な活気ある地域：〇〇地域で農業や林業に携わる人全員が、持続可能な農業経営と森づくりを目指している ③ やすらぐ美しい地域：山・川・里を活かした〇〇地域の美しい農村風景が創出される（住民の過半数がそう感じている）			
アウトカム目標（助成期間に達成したい状況・成果とその指標および目標）	<アウトカム1>（アウトプット①・②・③を通じて） ・〇〇地域への定期的訪問者や長期滞在者が増え、地域に間伐体験参加費と農家民宿などの収入を生む（長期滞在者数：10%増、2年目の収入合計：200万円） <アウトカム2>（アウトプット①・③・④を通じて） ・〇〇地域産の間伐材によるオフィス木質化販売・使用実績ができる。（木質化したオフィス数：最低1事業所） <アウトカム3>（アウトプット①～④を通じて） ・〇〇地域で暮らそうとする移住者とその暮らしを支える雇用が創出される（新規雇用者数：2名、集落へ移住者数：1名）			
アウトプット（活動の直接の結果目標）	① 森のイベント開催（1日〇人参加。週末と夏季休暇に計〇日間）	② 農家民宿の営業（毎週末〇組・〇人の宿泊がある）	③ 企業向け森林体験ツアーの実施（月1回、計〇名の参加）	④ 地元企業のオフィス木質化の実現（1事業所）
主な活動	-〇〇間伐体験の実施 -植生観察会と伐採体験の実施	i)空き家改修体験 ii)農家民宿の開業 iii)外国人旅行客の誘致	i)県内企業へ営業の準備と実施 ii)森林体験ツアーの準備と実施	i) 材の伐採、製材 ii)体験ツアー実施 企業への営業 iii)オフィス木質化
予算（応募金額）	25 万円	262 万円	12 万円	18 万円

※アウトプット①～④すべてに記入しなくて結構です。5つ以上ある場合は複数まとめて記入ください。

**コメント [F1]:** 本記入ガイドでは一部例を記載しておりますが、理想的な記入例を示すものではありません。あくまでも参考としてください。

**コメント [F2]:** 5年～10年で達成できる目標について、なるべく指標を含めてご記入ください。

**コメント [F3]:** 2年後に実現したい地域の変化（アウトカム）が複数ある場合は、そのアウトカムごとに記入し、どのアウトプットが貢献するのかが分かるようにご記入ください。

**コメント [F4]:** 「13.プロジェクト予算」から読み取れるようにしてください。各アウトプットの予算の合計に、特定のアウトプットに配賦できない管理費や運営基盤強化に関する費用を足し合わせた額が申請額になります。

**2. 実施内容の詳細** 助成期間内に実施する活動内容の詳細について、「1.プロジェクトデザイン」に記載した期待するアウトプットごとに、(A) 実施内容の説明、成果指標と目標、(B) プロジェクトチームメンバー内の実施責任者、(C) 鍵となる協力者/団体を含めてご記入ください。

プロジェクトでは間伐体験プログラムを中心とした地域の仕事づくりを目指す。主に観光を目的に〇〇地域を訪れる家族連れをターゲット層として想定するため、林業の経験がなくても気軽に楽しめる間伐方式をツアーの売りとして考えている。〇〇間伐方式とは、NPO 法人〇〇が開発した方式で（以下、略）

【〇〇間伐の特徴（写真参照）】

- 1.
- 2.
- 3.

【他地域のモデル：NPO 法人〇〇によるもの】

年間の〇〇間伐参加者数は 400 名（参加費 3500 円）、  
間伐する木は年間 3000 本以上。事業として成立。  
来訪者が増え、間伐効果により森にも植生が戻る。

写真

この手法を活用して下記の①～④を実施し、アウトカム目標や中長期目標の達成を目指す。

① 森のイベント

主なターゲットである〇〇市在住の家族世帯と若者に対してはフェイスブックで広報を実施し、中学校には個別訪問で体験イベントを売り込む。間伐体験は、NPO 法人 M の協力を得ながら準備を進め 4 月～8 月に実施。植生観察会伐採体験は、山所有者と事前に確認を行った上で、××交流センターと協力して 9 月～11 月に行う。安全確保のため、参加者には専門家の△△氏に山に入る前の講習を受けてもらう。

(A) 成果指標と目標：延べ参加数 600 人/年（根拠：週末及び夏季休暇の参加者 10 人/日）半数がリピーターになることを目指す。

(B) 実施責任者：代表の〇〇〇〇

(C) 鍵となる協力者/団体：NPO 法人 M、山所有者、〇〇市××交流体験センター

## ② 農家民宿

①と同じターゲット層を巻き込み、空き家を農家民宿に改修する体験プログラム（大工仕事）を実施する。参加型で実施することにより農家民宿のリピーターになってもらえる可能性が高くなると考える。空き家の利活用について保有者と既に合意があり、引き続き関係維持に努める。農家民宿の開業に向けては、ノウハウを持っている▼▼氏の協力を得ながら進める。民宿の内容としては、〇〇間伐を含んだ、農村生活の体験事業となる予定である。主な参加者は、アウトプット①の参加者に加え、日本の伝統文化に興味がある外国人旅行者を想定している。こちらについては、ABC株式会社経由で誘致を行う。また外国人受入れの先進地であるA県B町を2016年5月に訪問する。

(A) 成果指標と目標：延べ宿泊者数 500 人泊/年（根拠：毎週末に 10 名。内訳として、間伐体験参加者が 150 名、民宿のみが 200 名、外国人が 150 名。）

(B) 実施責任者：×××

(C) 鍵となる協力者/団体：空き家保有者、▼▼氏、ABC 株式会社

## ③ 企業向け森林体験ツアー

企業は、社員の鬱や病気による休職/離職によって、人件費増大に頭を悩ませている現実があります。

(7. 地域課題参照) そこで、鬱や病気を未然に防ぐ手段として、森林浴効果がある「〇〇間伐体験ツアー」を、新しい福利厚生として主に〇〇市内の企業に提案します。実施については〇〇市のZZZ内にサロンを構え、エステやメンタルヘルス事業を行う有限会社Yと共同で実施します。

(A) 成果指標と目標：実施回数月 1 回と延べ受入れ人数 120 名

(B) 実施責任者：代表の〇〇〇〇

(C) 鍵となる協力者：有限会社 Y

## ④ 地元企業のオフィス木質化

アウトプット③で効果を実感した企業を中心に、社内環境の向上を図るために間伐材を使用したオフィスの木質化を提案する。助成期間中に 1 社とモデルケースを作り、助成期間終了後の事業の柱の一つにする。

実際の〇〇間伐材の伐採、製材は、2 年目に地域の経験者の指導を受けながら企業の社員と一緒に行う。助成期間中に製材した間伐材を使用して、企業のオフィスの木質化を図る。

成果指標と目標：モデルケースとして 1 社のオフィス木質化

実施責任者：代表の〇〇〇〇

カギとなる協力者：LLP××××

### 3. プロジェクトチームメンバー・外部専門家

氏名 (※1)	年齢 (「〇〇代」 でも可)	所属・肩書	プロジェクト 内の役割 (兼任も可能)	参加度 (1~3) (※2)	人件費 謝金 (※3)
	35	K 町内会 町内会長	代表・連絡責任者	1	人
	60代	〇〇市〇〇公民館主事	会計責任者	1	人
	60代	K 地区町内会連合会 会長	副代表、間伐担当	2	
	22	学生団体 S 代表 (来年度移住予定)	副代表、農家民宿 担当	2	
	80代	(略)	建築担当	2	
	80代	(略)	農業体験担当	2	
	70代	(略)	農業体験担当	2	
	70代	(略)	間伐・製材担当	2	
	60代	(略)	間伐担当	2	
	35	〇〇市 Y 交流体験セン ターセンター長	広報担当	2	
	44	NPO 法人 Y	広報担当	2	
	21	〇カフェ店長	飲食担当	2	
	27	〇〇NPO センタープロ ジェクト担当	記録、広報担当	2	
	33	NPO 法人 M 理事長	製材担当	2	
	40代	株式会社 O 代表取締 役	宿泊施設マーケ ティング	3	
	51	(略)	運営サポート	3	
	50代	〇工務店 大工	設計、大工作业指 導	3	謝
	40代	(略)	間伐材デザイン 指導	3	
	30代	(略)	間伐材流通 指 導	3	
	30代	(略)	〇〇間伐 指導	3	
他 2 名				3	

※1 行が足りない場合は、最後の行に「他〇名」などとしてください

※2 「関わり合いの度合い」は、1がコアメンバー（全体の企画・運営管理）、2が特定の活動に深く関わって  
もらうメンバー、3が協力の意思を表明している方や助言を求める専門家

※3 助成金により人件費が支払われる方には「人」、謝金が支払われる方には「謝」と入力してください

4. 【経歴と活動実績】 代表者および主なメンバーの経歴と活動実績をご記入ください。

活動予定地域との関わりも含めてご記入ください。

5. プロジェクトの中心となる組織の概要 設立年月、法人格、代表者氏名、事業内容、スタッフ数、財政規模、助成金・補助金による活動実績など

【K 地区町内会連合会】

設立年月：〇〇年 法人格：任意団体 代表者氏名：S スタッフ数：7

財政規模：10万円

助成金・補助金による活動実績：〇〇市「有害鳥獣対策モデル農園」

## 6. プロジェクトで活かす活動対象地域の魅力・強み・地域資源

自然環境や文化、産業や制度、他地域とのつながり（ネットワーク）、IU ターン者の存在など、プロジェクトで活かす（もしくは活かしたい）地域資源等についてご記入ください。

## 7. 本プロジェクトを通じて解決が期待される地域課題 「1.プロジェクトデザイン」で掲げた中長期目標実現に向けて、本プロジェクトで取り組む仕事づくりや未来の担い手育成によって解決につながるものが期待される地域課題についてご説明ください。

プロジェクトで取り組む課題に関して、対象地域の状況やそのような状況をもたらしている要因（根本原因）などがわかるよう、指標なども含めてご説明ください。

## 8. 目標に対するプラスの影響の可能性 プロジェクトを実施し、成果を出す上で、プラスの影響を与える可能性のある外部要因をご記入ください。また、それらをどのようにプロジェクトで活かしていくかご記入ください。

例えば、イベントの計画や組織の設立、関連プロジェクトの立ち上げ、政策の変更、条例の施行、地域の変化などです。

例：「当地域における外国人観光客は増加傾向にあり、観光協会は今後も〇〇%増え続ける予想をしている。民泊については、こういった外国人観光客も取り込むことを想定し、外国人向けのプランも考えている。」

「当県では来年度、〇〇という制度が検討されており、実施された場合は、本プロジェクトの後押しになる可能性がある。具体的には。。。」

コメント [F5]: プロジェクトに対して

**9. 目標に対するマイナスの影響の可能性** プロジェクトを実施し成果を出す上で、マイナスの影響を与える可能性のある内部・外部要因をご記入ください。また、それらが起きないようにする対策や、実際に起きてしまった場合の対応策（代替案や緩和策など）があれば簡潔にご記入ください。

プロジェクトが失敗するとしたら、どのような要因によるものが考えらるかお考えいただき、どのようにそういったリスクを管理していくかご記入ください。

**10. 関連プロジェクトや他組織との連携** 地域ですでに実施されているまたは実施予定の類似の取り組みや地域内外の他組織との連携体制についてご記入ください。

**11. 代表者のメッセージ**

「自分たちはなぜこの活動を実施するのか」等、上記欄で伝えきれなかった代表者の率直な想いを当財団へのメッセージとして自由に綴ってください。

12. 活動スケジュール 1.プロジェクトデザインに記載した活動の枠組みごとに記入してください。

年月	手続き	活動予定			
		①	②	③	④
2016/4	助成期間開始/送金①				
5月		森のイベント準備	空き家改修	企業向け森林体験 ツアー準備・営業	
6月					
7月					
8月		間伐体験	空き家改修	ツアー実施	
9月		植生観察会			
10月	経過報告/ 送金②	植生観察会	農家民宿開業		
11月					
12月					
2017/1			外国人誘致		
2月			↓		
3月					
4月	経過報告/ 送金③	間伐体験			
5月					
6月					
7月		間伐体験			伐採体験
8月					
9月					
10月	経過報告/ 送金③	植生観察会			製材
11月					
12月					
2018/1			↓	↓	オフィス木質化
2月					
3月	助成期間 終了				
4月	実施報告				

13. プロジェクト予算 (最終ページ<表-1>の助成金費目一覧に基づいてご記入ください。)

費目	内訳 (算出根拠)	応募金額 (万円)	他の財源 (万円)
人件費	A氏(アウトプット①、③、④) 3万円*24ヶ月=72万円 B氏(アウトプット②) 2万円*24ヶ月=48万円	60	60
借料 ・水道光熱費	農家民宿用空家賃料・水道光熱費 2万円*24ヶ月=24万円 (アウトプット②)	48	
謝金	〇〇氏 大作業指導料 1万円*6回 (アウトプット④) チームビルディング研修 講師代 5万円*2回	16	
委託費 (委託先を明記ください)	建築設計費 20万円 (〇〇設計) (アウトプット②) 木材費・工事費 170万円 (〇〇建設) (アウトプット②)	190	
旅費			
通信・運搬費			
機械・器具・ 備品費 (※)	製材機 モデル XYZ 200万円 組み立て運賃別途 16万円 万能機 モデル 300 55万円(中古)		271
消耗品費	チェーンソー H社 モデル RPG 13万円 (アウトプット①) プリンター 50,000 コピートナー 30,000 コピー用紙 20,000	23	
会議費			
印刷・製本費	リーフレット印刷費 1年目2万円 2年目3万円	5	
その他諸経費			
	合計	342	331

コメント [F6]: 基本情報の応募金額と同じかご確認ください。

※20万円未満の物品を購入する場合は、「消耗品費」として計上してください。

※「1.プロジェクトデザイン」のアウトプット別の予算(申請額)の内訳が分かるようにご記入ください。

#### 14. 当該プロジェクトに投入される財源および当該プロジェクトから発生する事業収入

当財団へご応募いただいている助成金のほかに、当該プロジェクトに投入される予定の財源がございましたら詳細をご記入ください。決定済のものがあればその旨明記してください。自己資金に関する規定はございません。助成金以外の財源がない場合は記入不要です。

プロジェクトによる事業収入がある場合は、助成期間中に使用しない場合も詳細を記載ください。

財源（※）	内容・期間	使途	金額（万円）
寄付金	活動に参加・賛同する地域住民からの寄付	人件費等	15
事業収入	間伐体験、植生観察会、民宿、メンタルヘルスツアー、オフィス木質化	製材機	200
融資	日本政策金融公庫	製材機組み立て費、人件費	30
助成金	〇〇助成金（申請中）	人件費、万能機	100
合計			345

コメント [F7]: 多様な財源があることを評価します。

※助成金・補助金、事業収入、寄付金・会費、融資、その他自己資金

コメント [F8]: プロジェクト予算の「他の財源」の合計額以上であるかご確認ください。（一致する必要はありません。）

15. 助成期間終了後の計画 1.プロジェクトデザインの中長期目標を達成するために、プロジェクト終了後にどのように事業を継続または展開していくのか、運営するための組織体制や計画についてご記入ください。必要資源（予算・人員・ネットワーク・拠点など）や財源の見通しも明記してください。

中長期の目標を達成するためには、助成期間終了後どんな資源がどれぐらい必要なのか。どのようにその資源を調達するのか。また、どのような組織にするのか。そしてどう実行するのかなどの戦略をご記入ください。